

学習内容と到達目標

☞ 人生の転機で自分はどんな決断をしたかを話す。また、同じ境遇の人にどうアドバイスするかを考える。

前半：[1. INTRODUCTION] ～ [5. SPEAKING] (自身の決断)

後半：[6. LISTENING] ～ [10. SPEAKING] (アドバイス)

指導のポイント

**1. INTRODUCTION** 第9課の復習。①で山川さんと村上さんのデートコースについて「～る前に」「～た後で」「～てから」を使ってうまく話せなかったり、②で質問にすぐに答えられなかった時は、入念な復習が必要。

**2. SPEAKING** 絵を見て、山川さんと村上さんの恋の結末を予想させる。しかし、実は、6枚のイラストの中に正解はないので、これ以外にどんな結末が考えられるかも聞いてみる。なお、物語の結末はこの課では明かされず、最終第21課で明かされる。

**3. LISTENING** 第3話前半。[2. SPEAKING]で物語の結末を予想させているので、①はさらりと流してかまわない。②では会話の内容(ストーリー)に注意を向けさせ、③で言語形式に注意を向けさせる(と言っても、学習項目は「～ことにした」だけであるが)。また、山川さんの村上さんに対する言葉遣いが最初に会った時(2課)とは変っていることも気づかせる。

**4. FOCUS** 機械的にできてしまう練習なので、学習者が文の意味をきちんと理解しているか確認しながら練習する。

**5. SPEAKING** [6. LISTENING]の「前フリ」として学習者に考えを話させる。

**6. LISTENING** ①で4人の意見(賛成か反対か、またその理由は何か)を聞き取らせ、②で言語形式や意見の述べ方に目を向けさせる。具体的には、

- ① 4人とも最初に賛否を表明し、その後理由の説明。そして、最後にもう一度賛否の表明をするという展開で話している。
- ② 賛否の表明に使われる表現「～べきだ」と「～ほうがいい」のニュアンスの違いについて考える(高木さんが最後に「いっしょに行ったほうがいい」と言った直後、すぐに「ううん、いっしょに行くべきです」と言い直しているところがヒント)。加えて、古田さんの使った「～のではないか」との比較(13課で学習)も行う。
- ③ [3. LISTENING]で村上さんの使った「～ことにした」と古田さんの意見に出てくる「～ことになった」の違い。村上さんは自分の決断について話しているのに対し、古田さんは(村上さんという)他者の決断について話している点がポイント。
- ④ 「どんなに～でも」(リー)、「私が彼女だったら」(古田)、「～さえあれば～できる」(古田)、「～わけではない」(姉)など、学習者が自分の意見を述べる時に役立つような表現を取り上げて練習(ただし、これらは通常「中級」で扱う表現なので、学

習者に余裕がないと判断した時は、産出は要求しない)。

### **7. FOCUS**

①～③はいずれも単純な文の接続練習なので、1つ1つ文の意味を確認しながら解答していく(意味も考えず機械的にやってしまう学習者も中にはいるので)。

### **8. SPEAKING**

[7.FOCUS] で学習した表現を使い、[6.LISTENING] と同じフレーム(賛否表明Ⅰ→理由→賛否表明Ⅱ)で話させる。学習者の余裕があれば、「私が彼女だったら」などの中級表現も織り交ぜて話させる。

### **9. LISTENING**

山川さんの両親の馴初め話もこの課で完結。会話の中にこの課で学習した3つの表現(「～ことになった」「～ほうがいい」「～べきだ」)が1度ずつ出てくるが、そういうことはあまり気にせず、話の内容を中心に扱う。

### **10. SPEAKING**

時間があれば、物語の結末(21課)に向けた「前フリ」として学習者の予想を話させる。